

H25 年度「生活習慣病検診等管理指導協議会（各がん部会）の
活動状況の調査」について

国がん第 326 号
平成 26 年 1 月 15 日

各都道府県のがん検診担当課長殿
がん検診ご担当者様

独立行政法人 国立がん研究センター
理事長 堀田 知光
(公印省略)

拝啓 日頃はがん検診の精度管理向上にご尽力頂き誠にありがとうございます。

先般ご案内致しましたとおり、国立がん研究センターにて開催された「全国がん検診指導者講習会（H25 年 2 月 23 日）」の一環として、各都道府県がん部会の活動状況（H25 年度分）について伺います。

ご多忙の折大変恐れいたしますが、ご協力の程宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

【ご回答方法】

- ・別添の調査票（調査 1・調査 2）にご回答のうえ、3 月 28 日（金）迄に*ご返送下さい。
- ・ご回答の返送、その他各種のお問い合わせは scr-commu@ml.res.ncc.go.jp までお願い致します（FAX でも結構です）。

※がん部会の開催や検討結果の公表が年度をまたぐ場合には予めご連絡ください。平成 26 年 8 月末日まで回答期限を延長致します。

【この調査結果の公表について】

- ・厚労省研究班のホームページ*にて都道府県名つきで公表させていただきます。

※この取り組みは H23 年から開始し、今回で 3 回目にあたります。

調査の趣旨、過去の調査結果は下記サイトからご覧頂けます。

<http://canscreen.ncc.go.jp/management/taisaku/syukanbyo.html>

ご不明な点は下記までお問い合わせ下さい。

【国立がん研究センター がん検診受診向上指導事業事務局】

国立がん研究センター がん予防・検診研究センター検診研究部 齋藤博（担当：町井涼子）

e-mail: scr-commu@ml.res.ncc.go.jp FAX : 03-3547-5350

以上

生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況の調査（H25年度）

調査1：都道府県チェックリストの遵守状況調査

- 胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんの「がん検診チェックリスト（都道府県用）」にご回答ください。
- ご回答時の注意：
 - ・全ての項目に「○」または「×」でご回答ください。
 - ・「○」「×」の判断がつかない場合（質問項目の意味が不明など）は、お手数ですが下記事務局までお問い合わせください。
 - ・平成23年度の実施体制に基づいてご回答ください*。
 - ・都道府県内の一部でも非遵守であれば「×」にご回答ください。
（例えば、集団検診で○、個別検診で×の場合は、×にご回答下さい）

※入手可能な最新の地域保健・健康増進事業報告（2年度前）と合わせるため

調査2：生活習慣病検診等管理指導協議会（がん部会）*の活動状況調査

- 平成25年度のがん部会の開催の有無、がん部会における検討事項の公表の有無、公表事項についてご回答下さい。
- がん部会の開催や公表が年度をまたぐ場合には予めご連絡をお願い致します。回答期限を平成26年8月末日まで延長させていただきます。

※名称が「生活習慣病検診等管理指導協議会」「がん部会」と異なる場合もありますが、がん検診精度管理を担う立場にある組織の活動について回答して下さい。

ご回答の返送は、3月28日（金）までに下記へお願い致します。

ご返送先：

国立がん研究センター がん予防・検診研究センター 検診研究部 斎藤博（担当：町井涼子）
e-mail: scr-commu@ml.res.ncc.go.jp
FAX: 03-3547-5350

◆ 調査 1-1：都道府県チェックリストの遵守状況調査

チェックリスト項目	回答欄				
	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
1. 生活習慣病検診等管理指導協議会の組織・運営					
(1) がん部会は、保健所、医師会、がん検診関連学会に所属する学識経験者、臨床検査技師等の、がん検診に係わる専門家によって構成されているか					
解説: 全ての関係者が揃っているのが望ましいが、少なくとも保健所、医師会の参加が無い場合は×					
(2) がん部会は、市町村が策定した検診実施計画/検診体制等について、検診が円滑に実施されるよう、広域的見地から医師会、検診実施機関、精密検査機関等と調整を行っているか					
(3) 年に1回以上、定期的ながん部会を開催しているか					
(4) 年に1回以上、定期的に生活習慣病検診等従事者講習会を開催しているか					
解説: 生活習慣病検診等管理指導協議会から委託を受けて外部の機関（例えば対がん協会支部など）が行っている場合は○					
2. 受診者の把握					
※肺がん検診では、全項目で「胸部 X 線受診者・喀痰細胞診受診者」別に把握・集計できていれば○					
(1) 対象者数(推計を含む)を把握しているか					
(2) 受診者数を把握しているか					
(2-1) 受診者数(率)を性別・年齢階級別に集計しているか					
(2-2) 受診者数(率)を市町村別に集計しているか					
(2-3) 受診者数を検診実施機関別に集計しているか					
(2-4) 受診者数を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注1)}					
3. 要精検率の把握					
※肺がん検診では、全項目で「胸部 X 線受診者・喀痰細胞診受診者」別に把握・集計できていれば○					
(1) 要精検率を把握しているか					
(1-1) 要精検率を性別・年齢階級別に集計しているか					
(1-2) 要精検率を市町村別に集計しているか					
(1-3) 要精検率を検診実施機関別に集計しているか					
(1-4) 要精検率を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注1)}					
4. 精検受診率の把握					
※肺がん検診では、全項目で「胸部 X 線受診者・喀痰細胞診受診者」別に把握・集計できていれば○					
(1) 精検受診率を把握しているか					
(1-1) 精検受診率を性別・年齢階級別に集計しているか					
(1-2) 精検受診率を市町村別に集計しているか					

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(1-3) 精検受診率を検診実施機関別に集計しているか					
(1-4) 精検受診率を過去の検診受診歴別に集計しているか ^{注1)}					
(2) 精検未把握率を把握しているか ^{注2)}					
5. 精密検査結果の把握					
※肺がん検診では、全項目で「胸部 X 線受診者・喀痰細胞診受診者」別に把握・集計できていれば○					
(1) がん発見率を把握しているか					
(1-1) がん発見率を性別・年齢階級別に集計しているか					
(1-2) がん発見率を市町村別に集計しているか					
(1-3) がん発見率を検診実施機関別に集計しているか					
(1-4) がん発見率を受診歴別に集計しているか ^{注1)}					
(1-5) がん発見率を検診方法別(マンモグラフィ・視触診)に集計しているか	/	/	/	/	/
(2) 発見がんに対する早期がん割合 ^{注3)} を把握しているか					/
(2-1) 粘膜内がん(胃がん、大腸がん)・非浸潤がん(乳がん)を区別しているか			/	/	/
(2-2) 早期がん割合を性別・年齢階級別に集計しているか					/
(2-3) 早期がん割合を市町村別に集計しているか					/
(2-4) 早期がん割合を検診実施機関別に集計しているか					/
(2-5) 早期がん割合を受診歴別に集計しているか ^{注1)}					/
(2-6) 早期がん割合を検診方法別(マンモグラフィ・視触診)に集計しているか	/	/	/	/	/
(2-7) 子宮頸がん検診で、発見がんに対する上皮内がん ^{注4)} 割合を把握しているか	/	/	/	/	/
(2-7-1) 子宮頸がん検診で、上皮内がん割合を年齢階級別に集計しているか	/	/	/	/	/
(2-7-2) 子宮頸がん検診で、上皮内がん割合を市町村別に集計しているか	/	/	/	/	/
(2-7-3) 子宮頸がん検診で、上皮内がん割合を検診実施機関別に集計しているか	/	/	/	/	/
(2-7-4) 子宮頸がん検診で、上皮内がん割合を受診歴別に集計しているか ^{注1)}	/	/	/	/	/
(2-8) 子宮頸がん検診で、発見がんに対する微小浸潤がん割合を把握しているか ^{注5)}	/	/	/	/	/
(2-8-1) 子宮頸がん検診で、微小浸潤がん割合を年齢階級別に集計しているか	/	/	/	/	/
(2-8-2) 子宮頸がん検診で、微小浸潤がん割合を検診機関別に集計しているか	/	/	/	/	/
(2-8-3) 子宮頸がん検診で、微小浸潤がん割合を受診歴別に集計しているか	/	/	/	/	/
(3) 陽性反応適中度を把握しているか					
(3-1) 陽性反応適中度を性別・年齢階級別に集計しているか					
(3-2) 陽性反応適中度を市町村別に集計しているか					
(3-3) 陽性反応適中度を検診実施機関別に集計しているか					
(3-4) 陽性反応適中度を受診歴別に検討しているか ^{注1)}					
(3-5) 陽性反応適中度を検診方法別(マンモグラフィ・視触診)に集計しているか	/	/	/	/	/
(4) 発見がんについて追跡調査を実施しているか					

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(4-1) 発見がんの追跡所見・病理所見について把握しているか					
(4-2) 発見がんの予後調査(生存率・死亡率の分析など)を実施しているか					
解説:この項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県も多いが、がん検診の精度管理という点から言えば必要である					
6. 偽陰性例(がん)の把握					
解説:以下の3項目は、現在のがん部会の体制では容易でない都道府県が多いが、がん検診の精度管理という点から言えば本来は必要である					
(1) 受診者の追跡調査や地域がん登録等により検診受診後のがんを把握しているか					
(2) 検診受診後の偽陰性例※を把握しているか					
※検診受診時には陰性であったが、その後次回の検診までに、検診以外で発見されたがん (基本的には1年未満に発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年未満に発見された乳がん・子宮頸がん)					
(3) 検診受診後1年以上経過してから発見された胃がん・大腸がん・肺がん、2年以上経過してから発見された乳がん、子宮頸がんを把握しているか※					
※今回の受診後、規定された次回の検診(基本的には、胃・大腸・肺がん検診は1年後、乳・子宮頸がん検診は2年後)を受けずに、検診以外で発見されたがん					
7. がん登録への参加					
(1) 地域がん登録を実施しているか(H23年時点で実施していなければ×、以下3項目も同様)					
(2) 地域がん登録に対して、症例を提供しているか					
解説:がん部会が直接提供しなくとも検診機関あるいは精密検査機関が地域がん登録に検診発見がん例を提供していることを確認できれば○、確認できなければ×					
(3) 偽陰性例の把握のために、地域がん登録のデータを活用しているか					
(4) 予後の追跡のために、地域がん登録のデータを活用しているか					
8. 不利益の調査					
解説:以下4項目は次のいずれかの場合に○とする ・厚生労働省「地域保健・健康増進事業報告」の「偶発症の有無別人数」欄に全ての市区町村のデータを集計している ・主要な医療機関(精密検査を担当する機関)に、検診発見例の精査・治療における偶発症を報告してもらうための依頼文書※を送付し、その後報告されたものを集計している (依頼文書の雛形をご入用の場合は事務局までご連絡ください)					
(1) 検診受診後6ヶ月(1年)以内の死亡者を把握しているか					
解説:精密検査あるいは治療での偶発症によるもの。ただし、原疾患の悪化によるものは除く					
(2) 精密検査による偶発症を把握しているか					
解説:軽微なものを除く。概ね1週間以上の入院治療を要するもの(胃・大腸・肺がん)、入院治療を要するもの(子宮頸・乳がん)					
(2-1) 消化管穿孔例(胃がん)、腸管穿孔例(大腸がん)、精密検査に伴う気胸や感染症(肺がん)、治療が必要な中等度以上の出血例(乳がん・子宮頸がん)を把握しているか					

	胃がん	大腸がん	肺がん	乳がん	子宮頸がん
(2-2) その他の重要な偶発症※を把握しているか					
※輸血や手術が必要な消化管出血等(胃がん・大腸がん)、穿刺細胞診や組織診による感染や疼痛等(乳がん)、感染症等(子宮頸がん) / 概ね1週間以上の入院治療を要するもの(胃がん・大腸がん・肺がん)、入院治療を要するもの(子宮頸がん・乳がん)					
9. 事業評価に関する検討					
(1) チェックリストに基づく検討を実施しているか					
(1-1) 個々の市町村のチェックリストについて把握・検討しているか					
(1-2) 個々の検診実施機関のチェックリストについて把握・検討しているか					
(2) 要精検率等のプロセス指標に基づく検討を実施しているか					
(2-1) プロセス指標について、全国数値との比較や、各市町村間、検診実施機関間でのばらつきの確認等の検証を実施しているか					
(2-2) プロセス指標において問題が認められた市町村から、聞き取り調査等を実施しているか					
(2-3) プロセス指標において問題が認められた検診実施機関から、聞き取り調査等を実施しているか					
(3) チェックリストやプロセス指標において問題が認められた検診実施機関に対して、現地による調査・指導等を実施しているか					
解説: 聞き取り調査だけで十分改善が期待できる場合には、(十分な改善が期待できない場合に現地調査・指導を行う体制ができていれば)実際に現地調査・指導を行ってなくても○でよい。					
(4) 現地調査等により不適正な検診実施機関が認められた場合には、市町村に対して委託先の変更を助言するなど、適切に対応しているか					
10. 事業評価の結果に基づく指導・助言					
(1) 事業評価の結果に基づき、指導・助言等を実施しているか					
(1-1) 事業評価の結果を報告書に取りまとめ、市町村や検診実施機関に配布しているか					
(1-2) 事業評価の結果について、市町村や検診実施機関に対する説明会を開催しているか					
(1-3) 事業評価の結果に基づき、市町村や検診実施機関に対して個別の指導・助言を実施しているか					
(2) 事業評価の結果を、個別の市町村や検診実施機関の状況も含めて、ホームページ等で公表しているか					

注1) 初回受診者及び逐年検診受診者等の受診歴別: 初回受診者の定義は、過去3年に受診歴がない者(胃がん・大腸がん・乳がん・子宮頸がん)、前年に受診歴がない者(肺がん)

注2) 未把握は、精検受診の有無が分からないもの。および(精検受診したとしても)精検結果が正確に分からないもの全て

注3) 肺がん: 臨床病期I期がん割合、乳がん: 臨床病期I期までのがん割合

注4) 上皮内がんは、がんが子宮頸部の上皮内のみにとどまるもの (H23年度実施例では集計にCIN分類は用いられていないため、上皮内がんと診断されたものについて記載して下さい)

注5) 微小浸潤がんは病期I a1 およびI a2 期のもの

◆ 調査 2 : 生活習慣病検診等管理指導協議会の活動状況調査 (H25 年度分)

1. H25 年度にがん部会は開催されましたか。

開催済みの場合は○、H26 年 8 月末までに開催予定の場合は△、H26 年 9 月以降も開催の予定がない場合は×を付けて下さい。

(5 がん合同の会議など、がん種別に開催されていない場合でも、各がんが個別に検討されている場合は○をお付け下さい)

	胃がん 部会	大腸がん 部会	肺がん 部会	乳がん 部会	子宮頸がん 部会
開催状況					

(△：開催予定と回答された場合は、8 月に改めて状況を伺います)

2. (設問 1 で ○：開催済みと回答された場合)

H25 年度の検討結果をホームページで公表されていますか

公表済みの場合は○、H26 年 8 月末までに公表予定の場合は△、H26 年 9 月以降も公表の予定がない場合は×を付けて下さい。

	胃がん 部会	大腸がん 部会	肺がん 部会	乳がん 部会	子宮頸がん 部会
公表状況					

(△：公表予定と回答された場合は、8 月に改めて状況を伺います)

3. (設問 2 で ○：公表済みと回答された場合)

以下の項目は公表されていますか。

公表しているものに○を、公表していないものに×をつけてください。

* 括弧内の「必須」とされているものが公表されていない場合には×とお答えください。

	胃 が ん	大 腸 が ん	肺 が ん	乳 が ん	子 宮 頸 が ん
(ア) 市区町村のチェックリスト遵守状況 (市区町村名必須)					
(イ) 検診機関のチェックリスト遵守状況 (検診機関名必須)					

(ウ) 市区町村のプロセス指標数値※（市区町村名必須）					
(エ) チェックリスト遵守度調査で、各都道府県が設定した評価段階以下の 市区町村に対する改善指導内容（指導先の市区町村名必須）					
(オ) チェックリスト遵守度調査で、各都道府県が設定した評価段階以下の 検診機関に対する改善指導内容（指導先の検診機関名必須）					
(カ) 精検受診率が国の許容値以下（乳がんが 80%未満、その他は 70%未満） の市区町村に対する改善指導（指導先の市区町村名必須）					
(キ) 都道府県のチェックリスト遵守状況					

※プロセス指標数値：要精検率、精検受診率、発見率、陽性反応適中度、受診率

4. （設問 2 で ○：公表済みと回答された場合）そのホームページのアドレスをご記入下さい。

	URL
胃がん	
大腸がん	
肺がん	
乳がん	
子宮頸がん	

◆ ご協力頂き誠にありがとうございました。

以下の署名欄にご記入のうえ、ご返送下さい。

ご署名欄 **恐れ入りますがご連絡先を必ずご記入下さい。**

都道府県名・ご所属：	
ご氏名：	
TEL：	FAX：
メールアドレス：	

通信欄 （来年度以降ご担当者が変わる場合は、予めご連絡いただけますと幸いです）

--